

令和2事業年度

決算報告書

自 令和 2年4月 1日

至 令和 3年3月31日

公立大学法人 九州歯科大学

令和2年度 決算報告書

1 収支計画

(単位:百万円)

区分	予算額(a)	決算額(b)	差額 (b)-(a)	備考
費用の部	3,396	3,431	34	
経常費用	3,396	3,427	31	
業務費	3,030	3,049	18	
教育研究経費	287	310	23	
診療経費	691	715	24	
受託研究費等	6	7	1	(注1)
人件費	2,046	2,015	▲ 30	
一般管理費	357	370	13	
(減価償却費 再掲)	(211)	(202)	(▲ 8)	
財務費用	7	7	0	
雑損	-	0	0	
臨時損失	-	3	3	(注2)
収益の部	3,342	3,413	70	
経常収益	3,342	3,393	51	
運営費交付金収益	1,788	1,761	▲ 26	
授業料収益	395	391	▲ 3	
入学金収益	62	63	1	
検定料収益	9	9	0	
附属病院収益	900	982	82	
受託研究等収益	8	9	1	(注3)
補助金等収益	45	45	0	
寄附金収益	28	31	3	(注4)
資産見返運営費交付金等戻入	8	9	0	(注5)
資産見返補助金等戻入	23	22	0	
資産見返寄附金戻入	7	7	0	
資産見返物品受贈額戻入	11	12	0	
財務収益	0	0	0	
雑益	53	45	▲ 7	(注6)
臨時利益	-	19	19	(注7)
当期純利益	▲ 53	▲ 17	35	
目的積立金取崩額	11	11	0	
当期総利益	▲ 42	▲ 6	35	

(注記) 記載金額は百万円単位とし、表示単位未満については切り捨て表示しています。

○予算額と決算額の主な差異について

- (注1) 受託研究費等については、主として受託研究等収益が1百万円増加したことに伴い受託研究費等が同額執行されたため、予算金額に比して1百万円増加しました。
- (注2) 臨時損失については、主として過年度損益修正損が2百万円計上されたことにより、予算金額に比して3百万円増加しました。
- (注3) 受託研究等収益については、受託研究等の件数は減少したものの、1件当たりの獲得資金額が増加したことにより、予算金額に比して1百万円増加しました。
- (注4) 寄附金収益については、主として寄附管理物品費用計上が当初見込みより3百万円多かったことから、予算金額に比して3百万円増加しました。
- (注5) 資産見返運営費交付金等戻入については、特別交付金で更新された高圧滅菌機が資産計上されたことなどから、予算金額に比して1百万円増加しました。
- (注6) 雑益については、附属病院雑益が当初見込みより5百万円減少したことに伴い、予算金額に比して7百万円減少しました。
- (注7) 臨時利益については、主として過年度損益修正益が15百万円計上されたことにより、予算金額に比して19百万円増加しました。

令和2年度 決算報告書

2 資金計画

(単位:百万円)

区分	予算額(a)	決算額(b)	差額 (b)-(a)	備考
資金支出	3,823	3,897	73	
業務活動による支出	3,219	3,191	▲ 28	
投資活動による支出	51	67	16	(注1)
財務活動による支出	121	121	0	(注2)
翌年度への繰越金	431	517	86	
資金収入	3,823	3,897	73	
業務活動による収入	3,353	3,427	73	
運営費交付金収入	1,837	1,837	0	
授業料収入	395	378	▲ 16	
入学金収入	62	63	1	
検定料収入	9	9	0	
附属病院収入	866	980	113	(注3)
受託研究等収入	7	15	8	(注4)
補助金等収入	93	62	▲ 31	(注5)
寄附金収入	28	31	2	
その他の収入	53	48	▲ 4	
投資活動による収入	0	0	0	
財務活動による収入	-	-	-	
前年度からの繰越金	470	470	0	

(注記) 記載金額は百万円単位とし、表示単位未満については切り捨て表示しています。

○予算額と決算額の主な差異について

- (注1) 投資活動による支出については、特別交付金27百万円で行った高圧滅菌機の更新によって有形固定資産の取得による支出が増加したことにより、予算金額に比して16百万円増加しました。
- (注3) 附属病院収入については、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い収入の減少を見込んでいたが、想定よりも減少しなかったことから、予算金額に比して113百万円増加しました。
- (注4) 受託研究等収入については、受託研究等の件数は減少したものの、1件当たりの獲得資金額が増加したことにより、予算金額に比して予算金額に比して8百万円増加しました。
- (注5) 補助金等収入については、主として臨床研修医補助金が18百万円減少したことにより、予算金額に比して31百万円減少しました。

○キャッシュ・フロー計算書の額と決算額の主な差異について

- (注1) 投資活動による支出の決算額は、キャッシュ・フロー計算書の額44百万円に、当期末未払金33百万円を加算し、前期末未払金9百万円を減算して算出しています。
- (注2) 財務活動による支出の決算額は、キャッシュ・フロー計算書の額113百万円に、利息の支払い額7百万円を加算して算出しています。
- (注5) 補助金等収入の決算額は、キャッシュ・フロー計算書の額112百万円に、前期末未払金50百万円を減算して算出しています。